

○ 指導計画の作成と内容の取り扱いで配慮すべきことは何か。

- 1 各学年の内容の指導については、必要に応じて当該学年の前後の学年で取り上げることもできること。
- 2 「A話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に示す事項について相互に密接な関連を図り、効果的に指導すること。
 - ・ 学校図書館などを計画的に利用しその機能の活用を図る。
 - ・ 生徒が情報機器を活用する機会を設けるなどして、指導の効果を高めるよう工夫。

- 3 「話すこと・聞くこと」に関する指導については、学年ごとに次の指導時間を配当

第1学年	第2学年	第3学年
年間15～25単位時間程度	年間15～25単位時間程度	年間10～20単位時間程度

音声言語のための教材を積極的に活用するなどして指導の効果を高める。

- 4 「書くこと」に関する指導については、学年ごとに次の指導時間を配当

第1学年	第2学年	第3学年
年間30～40単位時間程度	年間30～40単位時間程度	年間20～30単位時間程度

ある程度まとまった時間を学期ごとに配分して計画する場合、年間を通して週時間を割り当てて計画する場合、さらにその両方を組み合わせて計画する場合などが考えられる

- 5 「読むこと」に関する指導については、様々な文章を読んで、自分の表現に役立てられるようにすること。
- 6 道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、国語科の特質に応じて適切な指導をすること。
- 7 漢字指導の学年配当等について

- 第1学年…小学校「学年別漢字配当表」に示される漢字に加え、その他の常用漢字のうち、**250字から300程度**までの漢字を読むこと。
「学年別漢字配当表」の漢字のうち、**900字程度**の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。
- 第2学年…第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち、**300字から350程度**までの漢字を読むこと。
「学年別漢字配当表」に示されている漢字を書き、文や文章の中で**使う**こと。
- 第3学年…第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の**大体**を読むこと。
「学年別漢字配当表」に示されている漢字について、文や文章の中で**使い慣れる**こと。